



夕

に

去って

目が沈む

〜冥海に浮かびし暁の灯火 続編〜

18  
FOR ADULT ONLY



たん！  
ん！

おくうっ  
あたっ……てえ！

おっ  
おっ

おっ  
おっ

# 宏式堂

Presented by Hiroshiki-dou

射精  
さつき  
止返

かほ  
けん

この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧、購読を禁止いたします。  
本書の一部、または全部を無断で複製・転載・ネット上で共有する事を  
固く禁じます。

# あらずじ

ある日の昼下がり…  
司令官は暁の頭を撫で、可愛がっていた。  
いつものように平和な鎮守府…  
しかし、彼女らの下に突然不幸が訪れる。

.....

「ん…ここは…？」  
自室で眠っていたはずの暁が目を開くと  
そこは地下室のような暗い部屋だった。  
何者かにさらわれたのだろうか…。  
徐々に暗闇に目が慣れてくる。  
そこに浮かび上がったのは  
「第二種軍装…うらの人…？」

軍服を着た男達が暁に事情を説明する。  
どうやら彼らは「暁を一人前のレディーにするように」  
との任務を司令官から授かってきた様子だった。  
(司令官が…私の為に…?)  
暁の瞳が徐々に煌き出す。

しかし、司令官に思いを馳せているのも束の間  
男達は突然暁の服を破り、少女の肢体を乱暴に扱う。  
『暁さんには、殿方の味を覚えてもらいます』  
初めて受ける”男”の行為に  
暁はただただ恐怖する事しかできなかった。  
司令官に助けを求める声も空しく、闇に飲まれる…

.....

どのくらい時間が経っただろうか。  
男の”モノ”をひたすらに受け入れ続けた彼女は  
まともな思考ではいられなくなってしまった。  
「あは♥ らえいかん♥」  
彼女の目には、一体何が映っていたのだろうか…  
男の”モノ”を司令官と呼ぶ彼女の瞳には  
以前のような煌きは微塵も無い。

そして…暁を助けに来た少女の姿にも気付かぬまま  
彼女は自問する。

「私、立派なレディーになれたかな…？」

重たい扉を開けて暁を助けに来たのは  
白金の髪の少女だった。



あなた達…

ここで  
何のし  
るの？

お…

おやおやこれは…

我々は暁さんを  
立派なレディーに  
するようにと

提督から  
頼まれました

てっ！





ヒュー

大胆だねえ  
キミも一人前の  
レディーになりた



提督は  
こんな事  
させない  
つぽい

いっ!  
!?



へへへへ  
そうだぜ



暁ちゃんを  
いじめたつぽい?

これが...

ほ、

あのガキ  
讒言のように  
「司令官」って  
泣き叫んでた  
かと思ったら

頭がトンじまったのか  
俺たちのチ○ポの事を  
「司令官」とか  
呼び始めて  
むしやぶりついて  
来るんだぜ

ははは  
ははは  
笑える  
よなあ!?

ふうん

そう：

それじゃあ  
今度

タ立が  
アナタ達を  
逝かせてあげる

いっしょに  
素敵なパーティーを  
しましょう

おいおいマジかよ

うお…





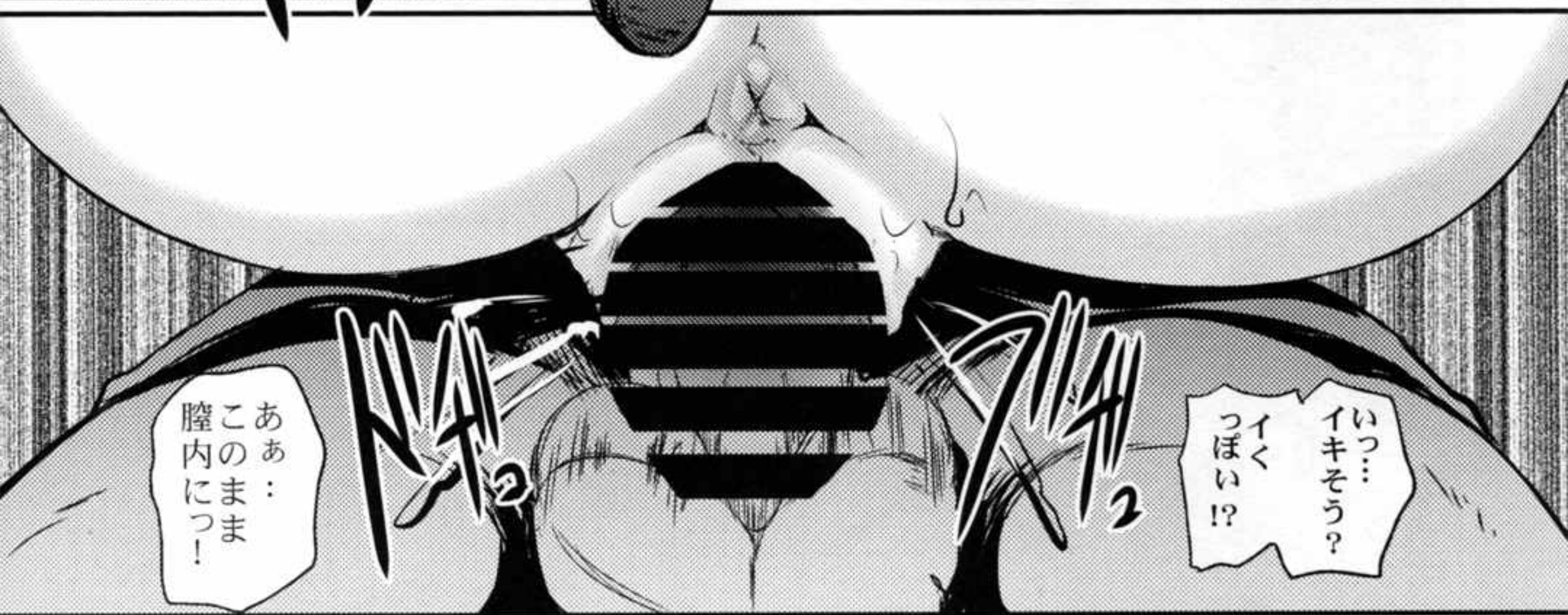


おくうっ  
あたっ…てえ!

あま〜!!!

おなかあ  
ひびくうっ  
ぽっ…おあああ♡

NANAN



ああ：  
このまま  
膣内につま!

いっ…  
イキそう?  
イクつほい!?

NANAN



ふふっ

ん〜：  
でもお

もうらよと  
やっらやう  
っほい？

えっ  
おま：  
何を：

やめ

うっ…が  
あああつ！！

イケない  
っほい！？

イキたいのに  
イケないっほい！？

いつ…てえええつ！  
いつ…痛えよ！  
やめてくれえ!!!





暁ちゃんを  
イジめたチ○ポ

血管ブチ切れるまで  
仕返ししてやるっばい



いっ...!!

たっ...  
助けてくれえ!!  
チ○コが...  
チ○コがもげちまう!!

おいおい  
お一人で  
お楽しみかい?



俺達も混ぜてくれよ

ぽ？



んぐうっ!?

おらっ  
こつちにも  
集中するんだよ!

オゴオツ!

けほっ

ほっ

ぽっ!

んぐ

んぐうっ!

けほっ

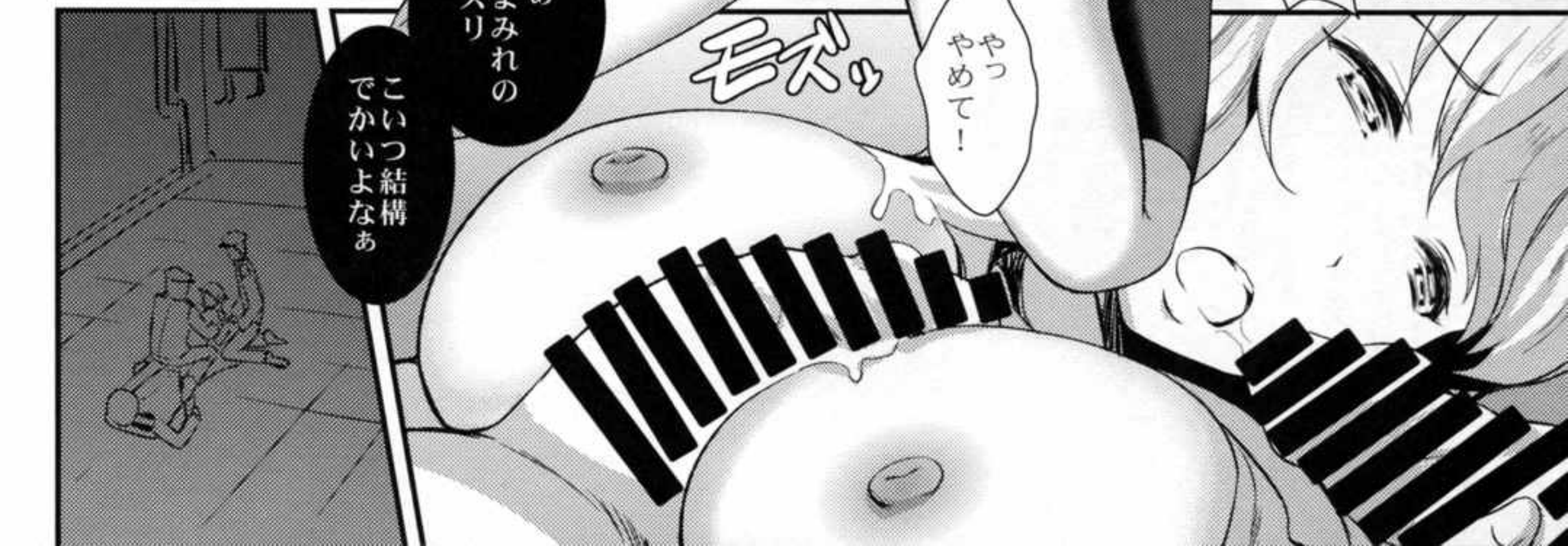
うはあ  
唾液まみれの  
パイズリ

アッ

アッ

モズッ

やっ  
やめて!



こいつ結構  
でかいよなあ





汚いの出さないでえっ!

これじゃ仕返し出来ないっ

まだ分かってねえようだな

戦況が優位なのは俺達の方だろ!



射精すぞ!  
受け止めるよ

んっ

...うん



出さないでって  
言ったのに

お？  
まだ欲しいのか？



きたない：  
くさい

これじゃ  
戦えないっ  
ほい！



？





この  
アマーツ!!

!!

芝 ぬぬぬぬ



白い服が  
真っ赤に  
なっちゃった  
っぽい

ハズレっぽい

う  
うわ  
うわわ

やう  
わわ

俺ら  
ほか



アナタのじや  
ないっぽい？

これ  
サイズが

？

ねえ  
提督から  
命じられたって  
言つてたけど  
アナタ達  
本当は何者なの？

悪夢とやらを  
見せられるのは  
どっちの方かな

^^  
^^  
^^

教えてくれたら  
ソアナにも  
ソアモンにも  
見せてあげる  
悪夢

ぽい？

ひっ！



さつきは  
随分と  
楽しいこと  
してくれたじゃ  
ねえか

びよー

あ、あれ？  
まだ誰か  
居たっけ？  
つぼい？



そっちは  
違うっ

今度は俺たちが  
エスコートしてやるよ!!

びよー





ぽいぽい  
うるせえなあ！

犯<sup>や</sup>つてみなきや  
分かんねえだろ！

うあああ！！

いだー！！

痛いよ

ゆめおこす！！



どうだ!?  
暁ちゃんと同じ事される気持ちは!

あか

きき

お

あか!!!



ごめんね!

まもってっあ!

あげられなくでう!

あか

あか

あか

あか!!!



二人仲良く  
膣内射精  
してやるからな

あかちゃんできちやう  
つほい...からあ!!

射精すぜ  
さっきの  
仕返しだ!!

びく  
びく

あか  
ちゃん

あ  
か  
ち  
ゃ  
ん

たつぷり  
飲めよ!

あ  
か  
ち  
ゃ  
ん



たのからい...

ハッ

アハハ

!!

アッ

アッ

アッ

アッ

[Redacted]

[Redacted]





はあ

はあ

四オ

あぁ...



まだまだ  
パーティーは  
始まったばかりだぜ  
可愛いお嬢さん

びく...

あぁ...

びく

びく

びく

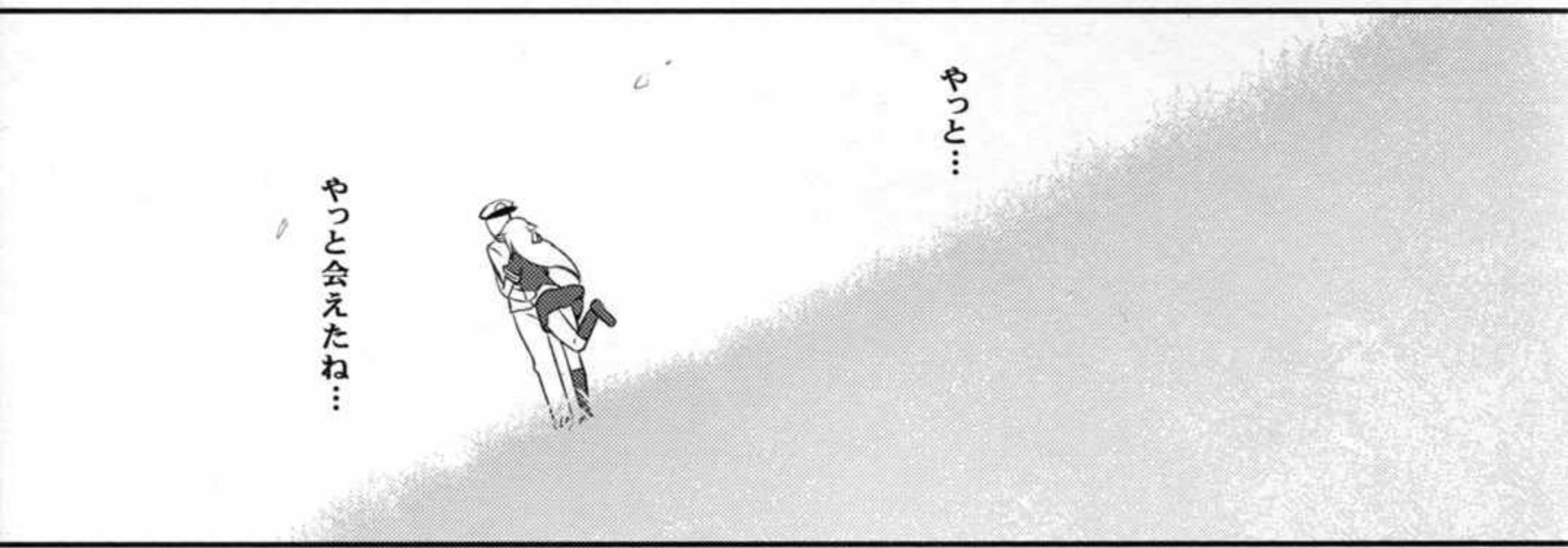
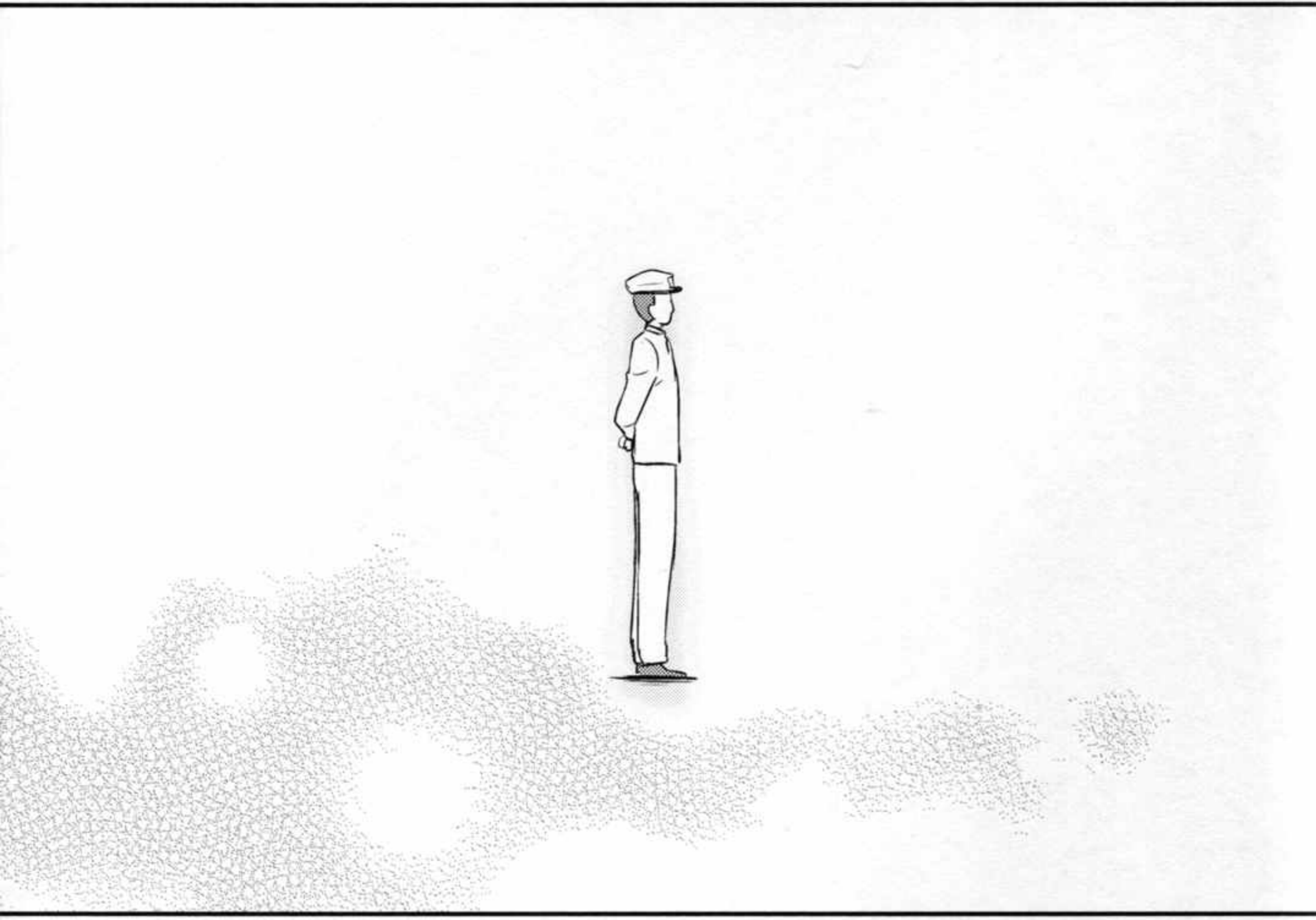
このまま...沈んじゃうっほい...??

夕立…

ん

艦長？





やっし...

やっと会えたね！

十一月十二日 深夜

軍装を奪い鎮守府の敷地内に進入した男達の手により  
暁が拉致される

静かになった暁の部屋を訪れた夕立が異変に気付き  
搜索を開始・彼女を発見するも、時既に遅し

暁は僅か十五分で轟沈していた

「さあ 素敵なパーティーしましろう」

夕立は男達に復讐を開始する

一人：また一人と墮としていき、優勢と思えたのも束の間  
一人の男に背後を取られ形勢逆転

夕立もまた、暁と同じように沈められてしまうのだった

沈み行く最中、彼女は夢の中で何を見たのだろうか：

## 【後書き】

こんにちは。  
サークル「宏式堂」の宏式と申します。  
この度は弊サークル同人誌を  
お手に取って下さりありがとうございます。

今回は、前作の暁本の続きを  
書いてみましたが如何でしたでしょうか？

メインキャラの違う続き物 という事で  
今回から読まれた方にも  
内容が伝わるよう、冒頭にあらすじを  
入れてみましたが、改めて自身の  
文章力の無さには絶望する限りです、  
漫画終わりの文章と合わせて  
なんとなく概要が伝わっていましたら幸い。

さて、今回でこちらのシリーズ(とは言っても  
2冊しか出していませんが)は  
一旦終了となります。  
陵辱系はまだ不慣れで、お見苦しい  
点があったとは思いますが、  
いい勉強になりました。

今後につきましても、また何か  
ネタが出てきた時にぼちぼち  
書いていこうと思いますので、  
その際にはまた、お付き合い頂けましたら  
幸いです。

それでは、ここまで読んで下さり  
ありがとうございました。  
またお会いしましょう。  
宏式でした。

## 【奥付】

サークル名 : 宏式堂  
発行者 : 宏式  
印刷所 : Comflex 様  
発行日 : '14/12/29

Blog : <http://hirosikidou.blog.fc2.com/>  
pixiv ID : 8778368  
E-mail : hiro\_shiki@hotmail.co.jp